



暮らしを豊かにする まちの使い方 最前線



2018

9.17 月祝

14:00-16:00 (13:30開場)

図書館交流プラザリぶらホール

岡崎市康生通西4丁目71番地

参加費:無料 定員:当日先着200名(申込不要)

主催:岡崎市 運営:NPO法人岡崎まち育てセンター・リた

お問い合わせ先:乙川リバーフロント推進課 TEL.0564-23-6490

「公共空間の使い方、まちを歩く人の流れが変わる」ことが、昨年の社会実験『MeguruQuruwa』で検証されました。

QURUWAの回遊性の具現化に向けて、今年の11月頃に康生通り等で地元まちづくり団体による「まち歩きが楽しいまち」、「魅力ある、来やすいまち」を目指した道路や駐車場再構築の社会実験が予定されています。

本シンポジウムでは、乙川リバーフロント地区において公民連携で目指すまちの未来の暮らしのイメージを高めます。



QURUWAとは

名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、(仮称)乙川人道橋、中央緑道、籠田公園、リぶら、岡崎城など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線。かつての岡崎城跡の「総曲輪(そうくるわ)」と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから、「QURUWA」と命名しています。

<http://otogawa.jp> [おとがわプロジェクト](#) で検索

プログラム

第1部 話題提供

康生通の未来に向けた挑戦

株式会社まちづくり岡崎による社会実験のねらい

第2部 パネルディスカッション

暮らしが豊かになるまちの使い方最前線

- ・皆で考える通りのあるべき姿(ストリートデザイン)とは
- ・通りにとっての駐車場のあるべき姿とは

パネリスト

横浜国立大学大学院
都市イノベーション研究院
助教

三浦詩乃氏

国土交通省
都市局 まちづくり推進課
官民連携推進室課長補佐

橋口真依氏

乙川リバーフロント地区 まちづくりデザインアドバイザー
/建築家/株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役
/株式会社リノベリング取締役

西村浩氏

おとがわプロジェクト デザインコーディネーター
/建築家/東京藝術大学美術学部建築科准教授
/RFA主宰

藤村龍至氏